

# 七小校長室便り

開校51年目

国立市立国立第七小学校

校長室便りNo.5 令和5年(2023年)10月6日

## 10月14日(土) 第51回運動会を開催します!

8月の後半より2学期が始まり、月は10月となりました。子供たちも夏休みの生活から、学校生活へと流れを変えて、今は、第51回の運動会に向けた練習に力を入れて頑張っています。

既にお知らせしている通りに、今年度の運動会は、入れ替え制ではなく、すべての保護者の皆様にご来校いただく形で行うことにいたしました。また、運動会の内容についても、コロナ禍の中で工夫を凝らしてきたことを大切にして、表現と短距離走(徒競走)といたしました。

入れ替え制でないことにより、1年生から6年生の子供たちの様子を見ていただくことができるとともに、小学校ならではの言いと思いますが、低・中・高の成長の様子を演技や走る姿から感じていただくこともできます。

また、内容を学習指導要領に沿った表現と短距離走にしたことにより、全てのプログラムを午前中で終わることができ、涼しい時間帯で開催することで、熱中症等の子供の身体への安全も確保しやすくなります。また、表現においては、同じ演技を中心にご覧いただくことで、低・中・高のそれぞれの成長の度合いを見ていただくことができます。短距離走においても、コースを走る子供たちの腕の振りや校庭を足で蹴る音などから、1年生から6年生へと成長していく子供たちの6年間をイメージしていただくこともできるように思います。10月という爽やかな初秋の時間を子供たちとともに過ごしていただければと思います。

朝晩、秋の気配が感じられるようになりましたが、まだまだ、残暑も気になるころです。当日においては、保護者の皆様やご来校いただく皆様にも、暑さをしのいでいただく必要もありますので、体育館を開放することにいたしました。以上のように様々に準備をし、運動会の大成功を目指して、多くの方々のご協力をいただきながら、当日を迎えたいと思います。

昨年、50周年を終えた本校ですが、51回目の運動会を通して、本校の歩みに少しでも触れていただけたら、幸いです。多くの方のご来場を心からお待ちしております。



## 11月18日(土)は、2回目となるオータムフェスティバルです。

この10月の運動会を終えると、次は11月の文化的行事であるオータムフェスティバルに向けての取組が始まります。1回目は、令和3年度のコロナ禍の真ただ中での開催となり、様々な制限の中で、多くの工夫と努力により開催することができました。また、ご来校いただく皆様にも、座席指定などの取組にご理解とご協力をいただき、無事に開催をすることができました。

今回、2回目となるオータムフェスティバルは、感染症対策の制限の緩和もあり、1回目よりも多くの方にご覧いただくことができるものとなりますが、運動会のように全学年をご覧いただくことは、一定数の入場となる体育館という会場の関係上、入れ替え制となり、学年単位の入場となります。また、舞台においても、前は体育館の左右の側面も舞台として設定しましたが、今回は、前面部分を舞台にしておりますので、ご来場の皆様には、前を向いてご覧いただきます。

内容等については、また、改めてお知らせすることになりますが、学芸会と違い、これまで学習したことを中心にして、劇的な場面や発表的な場面等、様々な表現を活用したり工夫したりしながら、学習発表会的なものとして、自分たちの学びを披露してまいります。どうぞ、お楽しみに!

## 11月21日(火) 芸術の秋ということで、「笑顔寄席」の開催です。

学校だよりと前号の校長室だよりでお知らせしました、「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」として開催される『笑顔寄席』について、内容をお伝えしたいと思います。

11月21日(火)の当日は、午前9時30分から11時までの1時間30分の公演です。

内容については、学校だよりでもお知らせしましたが、もう少し詳しく、ここで紹介したいと思います。

まずは、司会は、林家まる子さんです。とても、元気で多才な方です。みんなをきくと、公演の世界に入り込ませてもらえると思います。

司会のところからが公演のスタートとなります。



## 最初は、「太神楽（だいかぐら）」です。

江戸時代の終わりの頃から、芸能として多くの人々の人気を集めました。日本の伝統文化の一つです。日本の伝統的なお囃子などの音楽に合わせて、番傘などの日本の傘を使い、傘の上で物を回したり、獅子舞をしたりするなどの曲芸をします。テレビなどの番組で取り上げられることもあり、ご覧になった方もいると思います。



## 続いては、「落語」です。

高学年の国語の学習で、映像や画像、教科書の読み物文としても掲載されていますので、小学校の学習として知っている子供たちも多いと思います。子供たちの中には、興味をもって落語の寄席に行ったことがある子もいるのではと思いますが、今回は、直接聴く機会となります。日本の伝統である話芸を楽しんでもらえたらと思います。



## 続いては、「歌」です。

歌では、2名の方が出演されます。本校の子供たちも歌が好きな子供たちが多いと思っています。移動教室等の校外学習のバスの中やレクリエーションの時には、歌のある音楽は欠かせません。

今回の方は、1名は声優の経験のある方で、ジブリの映画にも出ている方です。もしかしたら、知っている子供もいるのではと思います。もう1名の方も、ミュージカルやコンサートなど、様々な音楽活動をされています。私も音楽は、大好きなので、とても楽しみにしています。子供たちや保護者の皆さんが知っている曲も歌ってくれると思います。



## 続いては、「マジック」です。

手品を直接見る機会もなかなかないのでありますが、今回は、2名の方で披露してくれます。実は、ご兄弟でマジックをされています。このお二人も、もしかしたら、知っている方もいるかもしれません。目の前で繰り広げられるマジックを楽しんでもらえたらと思います。



## 最後は、「コミカルソング」です。

音楽は、人を感動させたり、人を悲しくも楽しくもさせたりする不思議なものです。特に声を使う歌は、心の中に残ります。今回は、子供たちの代表にも協力してもらいながら、楽しい歌の時間を過ごしてほしいと思います。



以上が内容です。出演者のお名前は、お伝えしたいところですが、当日のお楽しみにさせていただきます。子供たちにとって、そして、出演者にとって、忘れられない時間となるように、とても気合を入れて準備をしてくださっています。大成功の笑顔寄席となるように、出演者の皆さんと協力して、当日を迎えたいと思います。当日は、体育館において全校児童が集まる「笑顔寄席」です。保護者の皆様には、申し訳ありませんが、ご覧いただけません。ご了承くださいませ。

**【校長のつぶやき】** 昨年度と今年度の本校は、特別な2年間といえます。昨年度は、開校50周年があり、今年度は、研究発表会があります。学校が計画する教育活動の様々な内容が、この2年間は、周年式典と研究発表を軸に動いてきました。

そして、令和6年度である来年度は、特別な時から地道に取り組む日常的な時を迎えます。令和3年度、七小に着任して以来、特別支援学級くるみ学級の開設、きこえの教室の再開設、50周年記念行事、研究奨励校研究発表の年へと歩みを運んできました。

その中で、先生方やPTAをはじめとする保護者の皆様、見守り会をはじめとする地域の皆様、そして、七小の子供たちと一緒に協働する学校を目指して、様々な取組を展開してきました。現在、この3年間に取り組んできたことを振り返りながら、来年度、着実に60周年に歩を進めていく年にするために、学校評価の準備をしています。

学校での取組を様々な観点で評価して、次年度以降の取組を構築していくものです。また、保護者の皆様や地域の皆様のご意見等を参考にして、さらなる改善に向けて検討や修正等を行っていくこととなります。

例えば、今月号より学校だよりをすぐーる配信といたしました。お読みいただけただけでしょうか。すぐーるに登録いただいている方には、確実に配信されますので、学校との連携をさらに密にすることが可能と考えています。また、校長室だよりも、この号より、すぐーるで配信いたします。

このような学校の取組について、今後、お知らせする保護者アンケート等によってお考えをお知らせいただき、状況を把握し、分析をしながら、令和6年度以降の取組を見通していくのが、今のこの期間です。学校は、常に柔軟に対応し、変化していくところでもあります。皆様と協働する学校であるため、これからも進化してまいりたいと思います。